とかち新聞
主筆 松山明
（発行所） 北海道足寄町 とかち新聞社 電話5－2551番
毎旬5の日発行 1カ月200円 1カ年前納の場合2、000円

開拓根性で三十年

足寄開拓農協の記念式

足寄町開拓農業協同組合（遠山謙組合長）では、十日午前十一時から雨天のため同組合倉庫を会場にして来賓、組合員など約五百名があつまって組合創立三十年記念式をおこないました

はじめに国旗掲揚、君が代斉唱、物故者に対する黙禱があつて、遠山組合長から式辞として

昭和二十二年十一月十九日、農協法が形成され、翌年七月に当組合は旧西足寄村開拓農業協同組合として発足し、組合長に故加藤熊次郎氏、専務理事に大滝弥助氏で、その後幾多の変遷があつて記念すべき三十年を迎えこんにち畜産、酪農の販売二十五億円、購売十三億円の事業をみるに至ったわれわれが道のない原始林のなかで耐えてきた開拓のパイロツトとして農業の改革に向いたいので各位のご協力とご支援をお願いいたしたい

と述べ、つづいて組合創立功労者として故加藤熊次郎氏と大滝弥助氏に感謝状の贈呈があつてから、北海道畜産協同組合連合会から組合に対する表彰状の伝達があり、ついで来賓祝辞に入りました。

十勝支庁長代理の池田耕地部長から

私自身も昭和二十四年から三十年まで十勝支庁の拓殖課で本日この会場にお見えになつている方々開拓農協を直接担当したものでーとして支庁長の祝辞を代読

小林町長から

顧みますと組合員の方々は、敗戦の混乱のなかわが国の食糧増産のため戦後開拓のため本町に入殖され、自然、経済条件などあらゆる困難を克服し真剣に開拓につとめられ本町農業の大型営農、畜産、酪農の基地としての地位を確立して基幹産業の発展に寄与され心から感謝申しあげたい

長谷川道畜連会長から

昭和二十三年いらい畜産酪農を主体にして確固たる地位を築きあげ、六千粁の牧野、三千頭の乳牛六千頭の肉牛を擁し、販売、購売の取扱い高が三十六億円に達し、全道首位の開拓農協に成長したことは、ゆるがぬ開拓精神と協同精神の姿勢によるもので、衷心から敬意を表したい

つぎに祝電として中川農林水産大臣から「足寄町開拓農業協同組合創立三十周年記念式典を心からお祝い申しあげます、困難な問題と食糧悪化のなかで未曾の原野で開拓魂を発揮して三十年、こんにちの成果をあげたことは、遠山組合長をはじめみなさまの団結と努力のたまものと深く敬意を表する次才であります、本日の三十周年記念式にさいしこんにちまでの不とうな精神をとらえこんご一層のご発展を期するための意義ある三十周年記念式でありますよう心から願い、みなさまのご健斗を願いお祝いのごあいさつといたします」という長文のものから、堂垣内道知事、望月全国開拓農協連合会長をはじめ各方面からの披露があり、このあと組合本部前に中川大臣の揮ごうによる記念碑の除幕式があつてから祝宴にうつりました。

朝のロータリーで

つぎの日、十一日午前六時四十分からのNHKラジオの全国放送でこの日のもようがとりあげられました

尾崎アナウンサー 各地の朝の表情やその時々のいろいろな話題をお伝えしております、おはよう日本列島ーけさは北海道足寄町にお住いのとかち新聞社社長の松山明さんにお話しを伺いますー松山さん、おはようございます

松山 はい、おはようございます

尾崎 けさはいかがですか

松山 昨日、雨がふりましてどうにか0度以下になりませんが、標高五百粁の山の方はどうですか

尾崎 もうストーブはたいてますか

松山 朝はたいています

尾崎 一足飛びに秋というよりもー

松山 東の間の夏です

尾崎 足寄町ですが、場所的にいいますとー

松山 阿寒湖畔の付近ですけど、町が香川県に匹敵するほどの面積で、そこに開拓農協がありまして、戦後、東京あたりの戦災者、転業者、復員軍人、満洲開拓団などが二十年の八月から緊急に一種の棄民政策のように四百五十戸が入殖させられて、そして三十年を迎えまして立派な農協になりまして、現在は百八十戸くらいになりましたが、堅実な開拓魂の方々が残りまして、昨日、三十年式典をあげて、中川農林水産大臣の揮ごうによる開拓記念碑の除幕式をやりまして、組合員だけでなく家族全員を招待しておこなわれました

尾崎 入殖した当時はつらかつたでしょうね

松山 もうお菓子屋さんとか呉服屋さんとか、東京に住んでいられない、家もない方々を入れたわけです なにしろ可愛い鹿も何十頭という風に群れをなして襲つてくると畑をやられましてね、馴れない方々ですから自然に離農していつて、それでも残りました方々は牛は四、五十頭が最低で最高は五百頭も飼つているのです、事業内容も開拓農協としては日本一なんですね 三十六億円もの事業をやつており、頑張つた方々は既存農家よりも強い、毎月素牛を関西から九州へ三百頭も出していて有名な神戸牛ともなるわけです

尾崎 もうこれから冬支度ですね

松山 もうぼつぼつ冬用の牛の餌の貯蔵にとりかかつています、ことしは好天候で牧草のできがよく、それに円高による輸入飼料の値下りもあつていくらかメリツトがあるということです

尾崎 そうですか、ここは有数の厳寒地というんですか

松山 もう冬になると0下三十度をこえ、二十度以下はザラです

尾崎 これから段々と寒くなつていくわけですね

松山 そうなんです

尾崎 どうもありがとうございました

松山 どうも失礼しました

と東京からの電話による生放送番組「朝のロータリー」でした。

当初、NHKでは池田町のワイン祭りのもようを希望されましたが、そこで使われる牛肉は足寄開協から毎月百三十頭も送り込まれている現状から変曳しました

ニュースを斬る

総理大臣製造劇

◆…いよいよ十一月一日からの自由民主党の総裁公選への動きが活発となってきました。

◆…公選といつても自民党員、党友百五十一万人によつて、それも急ごしらえの寄せあつめの形での党内選挙なので国民全体には関係はないものの、現状では自民党の総裁イコール総理大臣となるので、無関心ではおれないのです

◆…この党内公選は百五十一万人の有権者による予備選挙によつて選ばれた上位二人を、自民党の衆参両院議員三百七十九名による本選挙によつて決定されるので、公選は名ばかりで依然として派閥次元の党内首導権争いにすぎないようです。

◆…立候補を予想される顔ぶれは現職の総裁、総理である福田赳夫氏、同党幹事長の大平正芳氏、総務会長の中曾根康弘氏、三木派の通産大臣河本敏夫氏とみられており、大方の見方では予備選挙での一、二位は福田、大平の両氏が決定的で、本選挙では中曾根派が福田氏を推し、田中派が大平氏を推し、三木派をはじめとする群小派閥がどちら側につくかによつて勝敗が決まるものと思われます。

◆…この〃総理大臣製造劇〃は、福田派と大平派による他派への抱き込み工作によつて、あるいは大臣、党役員などのポストや現ナマの取引があつたのでは一

いつまでも心にのこる
各種おくりもの
内祝・全快祝・快気祝
常時大量品揃い
特価奉仕！
足寄綜合衣料デパート
久保呉服店
電話代表5－2148
有線－2668

開基六十年を迎えて

杉田稔

本年ここに開基六十年、町制施行二十五周年を迎えるにあたり、今日を築いた幾多先人の苦難と偉業をしのびつつ、町民各位と喜びを分ち前途を祝福したいと存じます、

かえりみますと、今から七十有余年前、開拓の先駆者関寛翁が入殖以来、幾多の先人が想像を絶する厳しい悪条件を克服し、不屈の精神をもつて苛酷な自然と斗いながら未開の大地に開拓の鍬をふるつたのであります。

この先人のたくましい開拓精神、たゆみない努力に対し、私たち町民は、この偉業を大きな誇りとするとともにいまさらながら先人のご労苦に対し、限りない感謝と敬意の誠を捧げるものであります。

かつての荒々しい大地は今やすつかり酪農郷と生れ変りました。厳しい風雪に耐えぬいた先人の不撓不屈の精神をうけつぎ、町民の総意を結集して、いかなる苦難にも屈することなく、輝やかしい未来を開くためさらに前進する決意を新たにし、開基六十年のごあいさつといたします。

（陸別町長）

陸別町開基60年

町制施行25周年

記念式典 9月23日 午前10時30分

陸別町スポーツセンター

関寛翁ブロンズ像除幕式

9月23日午前9時 緑と太陽の広場

陸別町
町長 杉田稔
助役 徳光孝夫

陸別町議会
議長 竹内千代蔵
副議長 松台国雄

陸別町教育委員会
委員長 平林英祐
教育長 佐々木春志

陸別町農業委員会
会長 岡田秀雄

陸別町選挙管理委員会
委員長 正垣義忠

陸別町国民健康保険診療所
所長 伊藤正美

陸別町民憲章

一、みんなで力をあわせひろく産業をおこし、豊かな町を育てましょう

一、みんなで教養を深めたくましい心と体をつくり北方文化のかおり高い町を育てましょう

一、たがいにむつみ助けあい、だれもが生きがいをもてる、あたたかい町を育てましょう

一、たがいにきまりを守り、よい習慣をつくり、平和で明るい町を育てましょう

一、恵まれた自然を生かし、住みよい環境をつくり美しい町を育てましょう

町木 白樺

町花 福寿草

町鳥 郭公

（九月一日に指定）

豊かな町づくりをめざして

竹内千代蔵

本年は、我が陸別町の開基六十年、町制施行二十五周年に当る記念すべき年であります この意義ある年を迎え町発展の基となつた開拓先人のご労苦に感謝しこれからの町の発展に一段と努力しなければならないと信ずる次才です。

我が陸別町は関寛翁が開拓の鍬を入れてより七十七年、町の様相も一変し木材の町より酪農の町に移り変りつつあります。乳牛も六千頭を数えるにいたり、乳量の生産額も十五億円を越えるまでになつたことは誠に喜びに堪えない次才です

人口の急激な増加発展は望めませんが、町民がそろつて経済的に、精神的に豊かな町づくりに励み町は小さくても住みやすい町をと急願している次才です

永い間、教育関係者より要望が強かつた中学校統合校舎も着工し、スポーツセンター、老人憩の家、集落センター、町民憩の場としての緑と太陽の広場等環境整備に町民の要望に応じて着々実現しつつあることは皆様もご承知のとおりであります。

我々はこの記念すべき年に決意を新たに希望に燃える陸別を建設すべきことを祈念する次才です。

（陸別町議会議長）